

# 第6回リカジョ育成賞 -グランプリ候補-

テーマ	女子中高生の理系への進路選択を後押しするために
受賞者名	国立大学法人お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所

活動紹介	<p>お茶の水女子大学理系女性育成啓発研究所 (<a href="http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/">http://www-w.cf.ocha.ac.jp/cos/</a>) は、2015年に設置された理系女性教育開発共同機構を前身とし、2022年4月に設立されました。女子中高生の理系への進路選択の支援を行う取組を実施しています。2022年はJSTの令和3年度および4年度女子中高生の理系進路選択プログラム「理系女性フロントランナーへの挑戦プログラム」事業を中心に、女子中高生と保護者・教員に対し、理系への興味・関心を喚起させると共に、グローバルな理系女性人材の重要性を多方面から理解させることを目的とした30件の取組（オンライン、ハイブリッド、対面型のいずれか）を実施し、参加者数の合計は1575人でした。主たる対象が女子中高生である取組に関し、横軸に「理系への関心」、縦軸に「フロントランナーへの意欲」として位置付け、図のように設計しました。将来の進路が定まっていない女子中学生（一部の取組は女子高校生も対象）には、コロナ禍で感染防止対策を行い、少人数での主として対面型の6種類の取組を実施して、理系分野への興味・関心を喚起しました。理系分野への関心が芽生えた層に対しては、9種類の取組を実施することで、多様な視点から、理系分野を学ぶ楽しさや進学後のキャリアをわかりやすく解説しました。また、女子中高生の理系への進路選択について保護者と教員の理解が必要であることから、取組の多くは、保護者と教員も参加できるように設定すると共に、教員・保護者・教育関係者等のステークホルダーを対象とした講演会も実施しています。</p>
PRメッセージ	<p>社会で活躍する理工系女性人材の育成は日本における喫緊の課題です。理工系分野への興味・関心を育むために、多様な視点からの取組を提供し、女子生徒の理系への進路選択を全力で応援します。</p>

